

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公表番号】特表2016-521130(P2016-521130A)  
 【公表日】平成28年7月21日(2016.7.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-043  
 【出願番号】特願2016-512974(P2016-512974)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 5/071 (2010.01)  
 A 6 1 F 2/14 (2006.01)  
 C 1 2 N 15/115 (2010.01)  
 C 0 7 K 16/18 (2006.01)  
 A 6 1 K 35/30 (2015.01)  
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)  
 A 6 1 L 27/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/071  
 A 6 1 F 2/14  
 C 1 2 N 15/00 Z N A H  
 C 0 7 K 16/18  
 A 6 1 K 35/30  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 L 27/00 D  
 A 6 1 L 27/00 V

【手続補正書】  
 【提出日】平成29年5月1日(2017.5.1)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

ヒト角膜内皮細胞に富む組成物を形成する方法であって、(a)ヒト角膜細胞を含む細胞集団を、ヒト角膜内皮細胞以外の細胞に比べヒト角膜内皮細胞に選択的に結合する第1のポジティブな親和性試薬と接触させること及び前記第1のポジティブな親和性試薬が結合している細胞を選別すること、(b)任意に、前記細胞集団を、ヒト角膜内皮細胞以外の細胞と比較してヒト角膜内皮細胞に選択的に結合する、前記第1のポジティブな親和性試薬とは異なる第2のポジティブな親和性試薬と接触させること及び前記第2のポジティブな親和性試薬が結合している細胞を選別すること、並びに(c)任意に、前記細胞集団を、ヒト角膜内皮細胞と比較してヒト角膜内皮細胞以外の細胞に選択的に結合する第1のネガティブな試薬と接触させること及び該第1のネガティブな試薬が結合した細胞を除去することを含む前記方法。

【請求項2】

前記第1のポジティブな親和性試薬が、表2の遺伝子X1のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表2の遺伝子X5のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表2の遺伝子X15のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、又は表2の遺伝子X25のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマーを含む請求項

1 に記載の方法。

【請求項 3】

ヒト角膜細胞を含む前記細胞集団を、前記第 2 のポジティブな親和性試薬と接触させ、前記第 2 のポジティブな親和性試薬が結合された細胞を選択する、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 のポジティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 X 1 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 1 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、又は表 2 の遺伝子 X 2 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

ヒト角膜細胞を含む前記細胞集団を、前記第 1 のネガティブな親和性試薬と接触させ、前記第 1 のネガティブな親和性試薬が結合された細胞を除去する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 のネガティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 Y 6 のタンパク質産物に結合する抗体又はアプタマーを含む請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 のポジティブな親和性試薬が標識と結合しており、前記任意な第 2 のポジティブな親和性試薬が標識と結合しており、前記任意な第 1 のネガティブ試薬が標識と結合している、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法によって作製されたヒト角膜内皮細胞に富む組成物。

【請求項 9】

( a ) ヒト角膜内皮細胞以外の細胞に比べヒト角膜内皮細胞に選択的に結合するポジティブな親和性試薬、及び ( b ) ヒト角膜内皮細胞に比べヒト角膜内皮細胞以外の細胞に選択的に結合するネガティブな親和性試薬を含むキット。

【請求項 10】

前記第 1 のポジティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 X 1 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 1 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、又は表 2 の遺伝子 X 2 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマーを含む請求項 9 に記載のキット。

【請求項 11】

前記ネガティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 Y 6 のタンパク質産物に結合する抗体又はアプタマーを含む請求項 9 又は 10 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 12】

( a ) ヒト角膜細胞； ( b ) ヒト角膜内皮細胞以外の細胞に比べヒト角膜内皮細胞に選択的に結合する第 1 のポジティブな親和性試薬を含むヒト角膜内皮細胞； ( c ) 任意に、ヒト角膜内皮細胞以外の細胞と比較してヒト角膜内皮細胞に選択的に結合する、前記第 1 のポジティブな親和性試薬とは異なる第 2 のポジティブな親和性試薬；及び ( d ) 任意に、前記細胞集団を、ヒト角膜内皮細胞と比較してヒト角膜内皮細胞以外の細胞に選択的に結合する第 1 のネガティブな試薬に富む組成物。

【請求項 13】

前記第 1 のポジティブ親和性試薬が、表 2 の遺伝子 X 1 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 1 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、又は表 2 の遺伝子 X 2 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマーを含む請求項 1

2 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

前記第 2 のポジティブな親和性試薬を含み、該第 2 のポジティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 X 1 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、表 2 の遺伝子 X 1 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマー、又は表 2 の遺伝子 X 2 5 のタンパク質産物に結合する抗体若しくはアプタマーを含む請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

1 つ以上の前記ネガティブな親和性試薬を含み、該 1 つ以上のネガティブな親和性試薬が、表 2 の遺伝子 Y 6 のタンパク質産物に結合する抗体又はアプタマーを含む請求項 1 3 又は 1 4 に記載の組成物。